

## 組織評価の改善状況報告書

平成31年 4月25日

評価会議議長 殿

情報基盤センター長

組織評価に関する実施要項第10条に基づき、組織評価（自己評価及び外部評価）結果に係る要改善事項について、次のとおり平成30年度の改善状況を報告します。

<b>要改善事項</b>
以下の課題が指摘された。 【基準2】組織構成について A委員：会議・面談などにおける迅速な意志決定や高い生産性が得られている反面、クリティカルパス上の人材がボトルネックとなる点が懸念される。今後とも、教職員も含めた人員数、管理項目の増大を押さえつつ適材適所な人材配置が課題となる。 C委員：大学の規模や業務内容を考慮すると、専任教員や職員の人、数が少ないように思われる。H25年度からは組織構成上では、情報基盤センター長が情報基盤センター内に所属することになったが、静岡オフィスの情報基盤副センター長がなくなったので、実質的には専任教員の数が減っている。そこで、今後は専任教員の増員が不可欠である。 【基準3】教員及び支援者等について B委員：情報戦略の下で全学に関わる業務が増大しつつある現状を鑑みると、専任教員数について適切な時期に見直しされることが望まれる。 C委員：情報技術の進展に合わせて、情報システムや情報ネットワークを管理・運営し、さらに必要な研究開発を行うためには、基準2のコメントでも述べたが、更なる人員の充実が必要であると思われる。
<b>要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）</b>
組織の強化のため下記施策を推進していく。 (1) 現在、センター長を除く専任教員が1名であるので、これをH24年度の水準の2名に復帰させることを推進する。（期限：H31/4）
<b>改善状況</b>
(1) 平成31年4月1日付けで専任教員1名の定年退職後、情報基盤センター専任教員1名が新規採用され、専任教員は2名となった。また、新規に特任教員1名が採用され、更なる人員の充実について平成31年4月1日に達成した。
<b>達成年度（予定を含む）</b>
(1) 平成31年度達成済